

温暖化に負けない梨作り

～土づくり講習会の開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和3年11月2日発

梨生産者の栽培技術向上を目的として、9月30日に「市原市農業振興協会果樹部 土づくり講習会」がJA市原市東海営農センターで開催されました。

今年市原市で梨の発芽不良が多く発生しました。発芽不良は寒さで花芽が傷ついたり、枯死したりすることで発生します。秋の気温が高いと、花芽の耐凍性が十分に高くなり、冬の寒さで凍害を受けやすくなってしまいます。今後、温暖化の進行により、発芽不良による被害が拡大する恐れがあります。そこで、講習会では肥料や堆肥の散布時期を変更することなどで、発芽不良を防ぐ対策を提案しました。

梨をはじめとする果樹は他の作物と比べて温暖化の影響を受けやすく、早くからその対策をとる必要があります。農業事務所では今後も産地の維持発展に向けて関係機関と協力して支援していきます。



土づくり講習会の様子



発芽不良で枯死した花芽